



# うわじま 市議会だより

平成23年

(2011)

第 **23** 号

5月1日



この度の東北地方太平洋沖地震により、多数の住民の方々に未曾有の被害が生じました。亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。宇和島市議会も市民の皆様と一丸となって支援を行い、一日でも早い復興を願っております。

## 平成23年度当初予算決まる

一般会計は414億6,034万3千円  
総額855億8,510万9千円



### もくじ

◎定例会の概要・請願陳情・人事の同意 … 2～3

◎代表・一般質問 …………… 3～12

# 定例会の概要

平成23年3月宇和島市議会定例会は、2月28日に招集され、3月22日までの23日間の会期により開催されました。

【初日】2月28日  
まず、「平成22年度宇和島市一般会計補正予算（第5号）」他、平成22年度分提出議案7件について各担当理事者から提案説明がな

【2日目】3月3日  
平成22年度分議案について、各委員長から委員会審査の経過と結果についての

【3日目】3月14日  
代表質問に5名の議員が登壇し、市政全般に関しての質問がなされ、活発な質疑応答が行われました。

【最終日】3月22日  
まず、各常任委員長から委員会における審査経過と結果についての報告があり、反対討論が2件、賛成討論が1件あり、採決の結果、原案のとおり可決決定されました。

報告があり、採決の結果、委員長報告のとおり可決決定されました。  
次に、市長から平成23年度施政方針表明があり、続いて平成23年度分上程議案33件の提案説明が各担当理事者よりありました。

【4日目】3月15日  
一般質問に4名の議員が登壇し、活発な質疑応答が行われました。  
次に、上程中の平成23年度分議案と、請願・陳情が所管の常任委員会に付託されました。

## 第28回宇和島市議会定例会議決結果一覧表

番号	件名	議決結果
議案第1号	平成22年度宇和島市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第2号	平成22年度宇和島市介護保険特別会計補正予算（第4号）	
議案第3号	平成22年度宇和島市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第4号	平成22年度宇和島市病院事業会計補正予算（第3号）	
議案第5号	平成22年度宇和島市水道事業会計補正予算（第2号）	
議案第6号	工事請負契約の変更について	
議案第7号	市道路線の認定について	
議案第8号	宇和島市個人情報保護条例の一部を改正する条例	
議案第9号	宇和島市集会所設置条例の一部を改正する条例	
議案第10号	宇和島市特別会計設置条例の一部を改正する条例	
議案第11号	宇和島市立中学校寄宿舎設置条例の一部を改正する条例	
議案第12号	宇和島市総合体育館等設置条例の一部を改正する条例	
議案第13号	宇和島市国民健康保険条例の一部を改正する条例	
議案第14号	宇和島市斎場条例の一部を改正する条例	
議案第15号	宇和島市中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例	
議案第16号	宇和島市観光交流宿泊施設の設置及び管理に関する条例	
議案第17号	高野長英顕彰施設の設置及び管理に関する条例	
議案第18号	宇和島市都市公園条例の一部を改正する条例	
議案第19号	宇和島市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	
議案第20号	平成23年度宇和島市一般会計予算	
議案第21号	平成23年度宇和島市国民健康保険特別会計予算	
議案第22号	平成23年度宇和島市後期高齢者医療特別会計予算	
議案第23号	平成23年度宇和島市介護保険特別会計予算	
議案第24号	平成23年度宇和島市財産区管理会特別会計予算	
議案第25号	平成23年度宇和島市土地取得事業特別会計予算	
議案第26号	平成23年度宇和島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	
議案第27号	平成23年度宇和島市簡易水道事業特別会計予算	
議案第28号	平成23年度宇和島市観光施設特別会計予算	
議案第29号	平成23年度宇和島市公共下水道事業特別会計予算	
議案第30号	平成23年度宇和島市小規模下水道事業特別会計予算	
議案第31号	平成23年度宇和島市駐車場事業特別会計予算	
議案第32号	平成23年度宇和島市病院事業会計予算	
議案第33号	平成23年度宇和島市水道事業会計予算	
議案第34号	平成23年度宇和島市介護老人保健施設事業会計予算	
議案第35号	宇和島市指定金融機関の指定について	
議案第36号	土地改良事業の実施について	
議案第37号	土地改良事業の実施について	
議案第38号	宇和島市冷蔵所の指定管理者の指定について	
議案第39号	宇和島市育苗センターの指定管理者の指定について	
議案第40号	祓川温泉施設の指定管理者の指定について	
議案第41号	宇和島市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の特例に関する条例	即日同意
議案第42号	宇和島市御横財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第43号	宇和島市御横財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第44号	宇和島市御横財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第45号	宇和島市御横財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第46号	宇和島市御横財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第47号	宇和島市御横財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第48号	宇和島市御横財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第49号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第50号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第51号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第52号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第53号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第54号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
議案第55号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見をもとめることについて	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見をもとめることについて	
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見をもとめることについて	
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見をもとめることについて	

### 請願陳情

果、原案のとおり可決決定されました。  
次に、「宇和島市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の特例に関する条例」他19件が日程に追加され、委員会付託・討論を省略し、即決され、3月定例会を閉会いたしました。

#### （公）議会提出分

#### ◆請願第20号

宇和島市祝森字松尾地区への「ミニ処理施設新建設」反対を求める請願書  
（教育環境委員会）  
継続審査

#### ◆請願第21号

津島地区養護老人ホーム・救護施設改築工事強行反対に関する請願書  
（総務委員会）  
不採択

#### （継続審査分）

#### ◆陳情第8号

空き店舗対策支援金に関する陳情書  
（産業建設委員会）  
継続審査

◆請願第11号

グランド・ゴルフ場（認定コース）開設に関する請願書  
（産業建設委員会）

継続審査

◆陳情第13号

学校給食無料化の実施を求める決議の陳情書  
（教育環境委員会）

継続審査

◆陳情第15号

甘崎保育園建て替えに関する陳情書  
（厚生委員会）

取下げ承認

◆陳情第16号

宇和島市指定金融機関に関する陳情書  
（総務委員会）

取下げ承認

◆陳情第19号

城南中学校テニスコート整備計画の見直しを求める陳情書  
（教育環境委員会）

取下げ承認

人事の同意

●宇和島市御槇財産区管理会管理委員

永樂 久喜

（津島町御内2324番地）

北川 和弘

（津島町御内1911番地）

日南 久長

（津島町御内899番地）

音無 征

（津島町御内624番地）

松本省 三

（津島町御内354番地）

藤本 喜代志

（津島町槇川600番地）

是澤 輝夫

（津島町御内2530番地4）

●宇和島市清満財産区管理会管理委員

三曳 友幸

（津島町増穂内785番地）

酒井 常次郎

（津島町山財1395番地）

堀川 善弘

（津島町山財3669番地）

三好 政則

（津島町岩瀨内96番地1）

山内 源晴

（津島町岩瀨甲1315番地）

河野 悦徳

（津島町山財6430番地）

源 春男

（津島町増穂内1603番地）

●宇和島市人権擁護委員

久保田 和子

（愛宕町1丁目2番24号）

河野 晶子

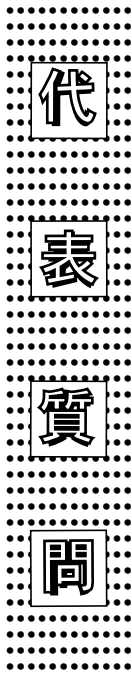
（御幸町2丁目6番8号）

森藤 裕子

（三間町兼近571番地）

清家 明

（津島町嵐番外22番地1）



自民党議員会

小清水千明

第一次産業の振興について

【質問】

平成17年の統計によりますと、当市の総生産額は第一次産業計142億3,7

考えか。

愛工房におきましては、積極的に柑橘の加工品の開発改良を進めており、当初から黒字の決算を出しております。12月議会では、市長は愛工房の搾汁ラインへの補助には理解が来ていないとの答弁でしたが、これこそが6次産業への有効な手段であり、農家の期待するものであります。12月の最盛期には農家持込み分を搾汁する事が難しい状況にあります。もう1ライン

増えれば搾汁する農家も増え、新たな独自の商品が出来上がると思います。

また、JAみなみくんが米粉パンに力を入れていますが、この米粉パンの普及も大きな目玉になるうと思っておりますが、市長はどの様な販売促進策をお考えでしょうか。

次に、植物工場ですが、愛媛大学が実施主体となり、津島に4棟の植物工場と研修施設や育苗・貯蔵施設を併設、栽培方法ごとにトマ

ト、キュウリ、葉菜類の適正品種の選定や栽培方法の確立、3割の低コスト化、流通販売等を研究するものです。最も危惧する、低コスト生産されたものを販売することで地元生産農家への影響はないのかお聞きします。また、価格の安いものが販売され始めると、全ての相場が下がって来ることとなります。そうなる前に、トマト、キュウリ、葉菜類を栽培している農家への支援策を講じる必要がある

ると考えますが、強化支援策があればお示しください。

【答 弁：市長】

私としても6次産業化を進めたいと考えている中で、農林水産業の出来るところから取り掛かっている思いであります。その中で、愛工房の補助金について、私としては反対と言ったつもりはありませんが、補助金は必要ならはしていかなくてはならないと思っています。一方で貴重な税金を投入するわけでありますから、費用対効果など十分に見極めて対応していきたいと考えております。米粉パンの消費拡大については、

小麦粉を使ったパンの販売需要から市場を奪っていかなければ需要拡大は難しいだろうと考えております。

植物工場については3割削減を目指すとしております。基本的にはまだ、一般農家のほうが安いレベルにあると私は理解しております。販売の面について他の生産者に価格低下で迷惑がかかるのではないかとこの点については、懸念材料であります。今のところ生産者の方に市が補助をつけるということは検討しておりません。

【答 弁：産業経済部長】

現在、愛工房が事業主体

者となり、「平成23年度農業主導型6次産業化整備事業」の採択に向けて中四国農政局及び愛媛県と連絡を取りながら申請準備中と聞いております。その内容は、柑橘農家約150戸に対応する搾汁施設1ラインの増設するもので、市としては、事業採択に向けて協力するのはもちろん、愛工房の要望については、できる限り、支援をしていきたいと考えております。

米粉パンにつきましては、小さいや広場での直販のほか軽トラックによる街頭販売も実施しており、柑橘や米に限らず、農業生産者自

らが取り組んでいる加工・販売についても、宣伝や販路、販売機会の提供など支援を図ってまいりたいと考えております。

植物工場につきましては、出荷流通圏域は近畿地方と定めております。地元農家の出荷先と同様の所には出荷しないこととしています。ただ、全く地元農家に影響が出ないかという点、その確認は持てませんので、これからの動向を見守ってまいりたいと考えております。また、先般の地元説明会では、栽培農家に対し、生産コストの3割縮減ができる栽培管理技術等の最新技



その他の質問事項

- ◆財政問題について
- ◆職員の不祥事について
- ◆教育について
- ◆コミュニティFMについて

自由民主党

大窪美代子

新ごみ処理施設建設について

【質問】

新ごみ処理施設建設については、これまでも本会議におきまして多くの方が質問されておりまして、

経過につきましては承知をしておりますが、確認の意味も込めまして触れておきたいと思っております。

まず、進捗状況についてそれから今後の計画について市長、関係の方々との簡潔な答弁をお願いいたします。

【答 弁：市長】

昨年度は地元との建設の基本協定というのを結びました。それと並行して昨年

の夏からは現地での測量調査をやっており、これもほぼ終わったのですが、残念ながら数名の地主の方がまだ隣地の境界立ちあいに参加していただいていません。その方々をさらに説得して是非とも早く隣地の境界等の作業を終わりたいと思っております。

4月からは、買取の方に入っていきます。当然の方がどれくらい

もっているという事が必要となつてきますので、整合性をとりながら買取作業に入っていきたいと思っております。

そして環境アセスメントの作業にも入っていくこととしております。環境調査の結果において大驚などの貴重と言われる動植物が見つかった場合、更なる調査が必要のため3年で終われないかもしれないと危惧さ

れています。

もうひとつは、残念ながら地主の反対の方の中で昨年立木トラストをしている方がいます。それに対する対応が3年でできないかもしれません。この後用地の造成に1年、建設に2年ということと3年間。最短で6年間ぐらい必要であると考えております。

【答 弁：市民環境部長】

建設にかかる地元の要望を昨年の11月以降、要望委員会に取りまとめをいただいており、先日ほぼでそろいました。現在であります

が、遍路道の保存に配慮した造成計画及び施設の配置について検討しているところであります。

今後の計画につきましても、広域事務組合に4月より用地買収担当者を配置し、用地の最終確認、基準額等の算定、買収方針を決定し、その後地権者との買収交渉に入っていきたいと考えております。

また、それと並行して環境影響評価の続き及び新施設の公害防止に係る協議を進めていく予定です。

自民党市民クラブ

三 曳 重 郎

林業振興について

【質 問】

近年は安価な外国産材の輸入、住宅事情の激変など林業を取り巻く環境は厳し

病院局について

【質 問】

病院局におかれましては、平成22年4月1日より地方公営企業法全部適用を導入し新たなスタートを切ったところであります。

この間の活動状況及び全適に移行した効果等について質問いたします。

3 病院の平成22年度の決算収支について、それから課題と今後の展望についてお聞きいたします。

【答 弁：医療行政管理部長】

地方公営企業法の全部適用となり、ほぼ一年が経過しました。その間の活動状況につきましては、まず管理者が意識改革をしようと

いう事で3病院、2老健の経営層、並びに職員に機会をとらえて会議を開催しております。

平成22年度経営収支については、市立宇和島病院におきましては、約5億から6億程度の資金の上積みをする事が出来る予定になっております。津島病院は累積では赤字ではございますが、約5千万程度資金を回収できるのではないかと考えております。ただ残念ながら吉田病院におきましては、6千万を超える今年度も赤字、資金が流れていってしまうという状況かと思っております。

【答 弁：病院事業管理者】

吉田病院は、合併前から

庁舎など公共施設を新たに整備する場合は、原則としてすべて木造建築とし、対象は13m以下、軒の高さが9m以下の両条件を満たし、延べ面積3000㎡以下の建物が中心となっております。

すべての公共施設で内装や備品、燃料の木材の利用

引き継ぎました資金不足が22年度末で17億5千万円となります。ここ数年赤字の改善が見られるとは言いますが、22年度の決算見込みでも、医療収益が9億2千5百万に対し、医療支出が10億4千9百万。10%以上の赤字が出るようになっております。

病院局でも全適以来1年間吉田病院の活動には注視してまいりましたが、抜本的再構築の必要を感じております。企業としての病院経営、一方で地域医療を守るという行政上の課題を抱えて苦慮しておりますが、今後あらゆる角度から議論を深めていかなければならないと感じております。

を促し、停滞している林業の再生を狙うと共に地球温暖化の防止等に貢献する木材利用の推進を図る公共建築物木材使用促進法が成立し、22年12月に詳細な説明がきております。

面積の半分を森林が占める当市において、公共建築物木材使用促進法と一次産

その他の質問事項

- ◆財政について
- ◆教育行政について
- ◆高速道路開通イベントについて



業の振興についてどのような受け止めているか。

また、国では建築物の非木造化を進めてきましたが、林業の活性化と森林の再生を図るため大きく方針を転換し、国主導で木材利用を進めています。木材の利用を促進すべき

公共建築物として、国または地方公共団体が整備するすべての建築物、積極的に木造化を促進する公共物は、低層建築物で、建築基準法

において耐火建築物とする等がもたらめないもの、費用面でも国と地方公共団体の建設した木造施設について、建設コストが鉄筋コンクリート造で建設したと想定した場合の標準的建設コストを下回っている例も多いとの報告もあります。

広域の愛生寮、津島荘は鉄筋コンクリート造の計画と聞いていますが、城南中寮の新築、城東中学校の改築、給食センターの新築、吉田公民館の新築など今後の公共事業に木造化政策を取入れることにより、民間

事業にも波及効果があると思いますが、どのような施策で南予林業の振興を図っていくのか弁を求めます。

【答 弁：市長】

現在、設計など取り組んでいるものはコンクリート構造を基本としております。公共施設は大型のものが多く、木造を考えると耐火面や強度面などからマイナスの要素が多く、木造設計にできない面があります。しかし、内装などにつきま

してはできる限り木造のものを利用しに配慮したいと考えています。

【答 弁：産業経済部長】

「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」は平成22年5月26日公布、同年10月1日に施行

されました。

当法は、戦後造林された人工林が資源として伐採適齢期を迎えるにあたり、低迷する国産材を公共建築物等に利用促進することにより、国産材の自給率を高め、森を育て、林業の再生を図ることを目的としております。

その内容は、低層の公共建築物の木造化、または内装等木質化の推進、暖房器具の木質バイオマス燃料の導入等の促進であります。

宇和島市においては、スギ、ヒノキ等の針葉樹の人工林面積率が80.8%あり、特に愛媛のブランド化されているヒノキの主産地である南予地域の一角を占めており、伐採適齢期の森林も



多いため、林業の活性化、また間伐による森林の多面的機能の向上を含め、同法による国産材木材の需要拡大は有効な手段であると考えられます。

また、このことにより、素材の生産、森林の適正管理、需要の拡大と好循環が図られ、持続的な木材関連産業の発展が予想され、林業の活性化に大いにつながると期待しております。今後といたしましては、国及び県の基本方針に基づ

いた施策に沿って取組むこととし、教育委員会、建設部とも連携をとりながら、学校教育施設、社会教育施設、市営住宅及び社会福祉施設について、新築・改築の木造化、木質化を図ってまいりたいと考えております。

また、林業関係事業において、今後とも有効的な造林補助事業、交付金事業の活用を努め、林業経営の安定化を目指し、民間への波及効果が図られるよう努めてまいります。

### その他の質問事項

- ◆福祉行政について
- ◆ネクスト100について
- ◆子供手当て法案について
- ◆九島架橋について
- ◆環境施設について

## 公明党

我妻 正三

ネクスト100について

【質問】

昨年11月に財団法人畜産環境整備機構の技術アドバ

イザーが現地指導を行っています。指導内容とその結果、今後の改善の見込みについて伺います。

【答 弁：産業経済部長】

臭気発生の原因として、堆肥の製造過程において、過度の水分が含まれ、発酵不良になるといふ分析結果

が得られました。これは糞尿の堆肥化の中で、尿の分量が多いということですので、尿に洗浄水をあまり混ぜないという方法に切り替えていきます。しかしながら、

それがどのような改善結果を得ているか、未だ確認はできていません。

【質問】

バイオマスタウン構想による悪臭対策の検討を行うべきではないでしょうか。

【答 弁：市民環境部長】

家畜糞尿だけでは、量的にバイオマス構想の要件を満たせず、他の未利用のバイオ資源を含めた利活用が

【質問】

悪臭問題の解決に対する市長の御決意を伺います。

【答 弁：市 長】

正しい手順で運用された場合どうなるか、これから気温が上がってくる時に、同じような発生があるとしたら、抜本的なことを考えなければいけない、腹を決めなければいけないと思っています。ただ、分かったのが11月ですので、もう少し見極めをきちんやり、それに基つき対策も考えなければいけないと思います。

### 教育行政について

【質 問】

スクールガードリーダーについてですが、12月1日より1名配置されましたが、現在は辞められたと聞いています。問題行動を起こす児童生徒が在籍する小中学

校は複数校あり、1名で対応するには無理があったと思います。現在、県警と配置についての協議をしていると聞いていますが、今後の状況について伺います。

【答 弁：教育長】

警察OBを雇用したのは、関係機関との連携を密にすること、教職員が指導の仕方とか、子どもに対する対応を学んで、まず教職員が変わって欲しいという目的がありました。現在、警察OBの方のおかげで、諸機関との連携が大変うまくいっている状況です。宇和島警察署を通じて県警本部に人選をお願いしていますので、4月からも雇用し、ご指導いただきながら、対応したいと考えています。



### 施政方針について

【質 問】

21年9月議会で市長は、九島架橋について国の補助事業として採択頂けたら、22年本体の詳細設計を行い、23年より工事着工、27年度完成を目指したいと答弁しています。現在、工事期間を短縮し、24年度着工し、27年度完成を目指している。間違いありませんか。

【答 弁：市 長】

技術的には可能と理解しています。ただ、一方で予算枠がありますので、本格的に3億円なり、それに近い数字の補助が決定をした場合は、その先の事業計画も当然国と協議しなければいけないし、遅れないようにやりたいと思います。

【質 問】

現在1隻のフェリーが島の民の足となつていますが、老朽化も著しく、修繕費が年々増大しており、安全面の確保も疑問視されます。今後の対応について、ご意見を伺います。

【答 弁：市 長】

九島架橋事業を一日も早くやり上げ、フェリーの新たな投資は避けたいという

のが基本的な考え方です。そんな中、安全上どうしても駄目だという判断が下される場合は、代船の購入なり、新造船の建造も考えなければいけない。代船については、瀬戸内海の方でも航路の縮小再編とか色々起こっておりますので、定期船がないか、常にアンテナは持っていますが、中々適当な船が現れないのが現実で、万一の時は新しい船を造らなければいけないと考えています。ただ、最終的な結論は出しておらず、状況を見守りたいと考えています

### その他質問事項

- ◆ネクスト100について
- ◆教育行政について
- ◆施政方針について

自由民主党島志会

赤松 与一

### 宇和島市の農業政策について

【質 問】

全国の地域ブランドがし

のぎを削る首都圏市場で、愛媛県産の存在感を示すことは容易ではありません。

宇和島市も全国各地で宇和島産品のPRをされていますが、どこで販売され、どのような結果が出ているかお聞き致します。

【答 弁：産業経済部長】

宇和島市の産物につきましては、農林課におきまして、平成十九年から四カ年

にわたり、東京、宮城、山形、青森、福島、北海道の百貨店、スーパー、道の駅、J Aなどで販売及びPRを行なっています。その結果、ギフト商品の取り扱いも実施

【質 問】

生産量対比を見ますと、豊作年と不作年の格差が、えひめ南は西宇和と比べて大きすぎる結果が出ています。これは何に原因があるのか、気象条件なのか、裁

【答 弁：産業経済部長】

培技術なのか、お聞きします。ここ数年、隔年結果の幅が少なくなっていました。平成22年産の減収原因ですが、昨年3月末の晩霜によって、ごく早生温州宇和ゴールドに被害が発生して

おります。これは西宇和管内より被害が大きかったと聞いております。生理落果の多発もあり、夏の早魘など、それが平成22年産の生産量2・2万トン、前年比71%につながったと認識しております。

【質問】

ここ数年、夏は猛暑で灌水をしなければ、なかなかいい作ができなくなっています。西宇和との差が灌水施設でもあるのかもしれません。えひめ南農協とも協議をし、隔年結果が少なくなるような指導方針を立てる事が必要と思うのですがどう考えますか。

【答 弁…産業経済部長】

本年度、温州みかんは表年に当たりますが、やはり老木園での隔年結果が大き



く、園地の若返りが必要と考えます。

また、品種構成の偏りも是正する必要があり、選定、摘果、適量な施肥による土作り根作りなど経験と技術を結集する必要があります。行政としましては農業関係機関、団体生産者組織との連携を図りながら指導者や生産者の努力に期待してまいります。

愛媛県宇和島圏域観光振興イベント計画について

【質問】

高速道路の宇和島延伸を契機として、地域の魅力を

再構築し、広くアピールするとともに、住民主体の観光まちづくりを持続的に進める必要があります。

宇和島圏域内の観光客数年間320万人、前年度比50万人増とありますが、いつ頃までに具体的な計画を作るのか、もう少し詳細な説明を聞かせてください。

【答 弁…産業経済部長】

イベント全体の実施計画は平成22年度事業です。よって、今月末には策定が終わりです。新年度には、この実施計画に基づき各イベントの具体的な内容を詳細に決定しながら、PRにも努めてまいります。

【質問】

都市部に比べ厳しい環境の地方においては、インフラ整備と同時に「辺地を個

性に変え、魅力を創出する」という、逆の発想も重要だと言われています。

当宇和島市も不利な状況を乗り越えてきていると思います。高速が三間、宇和島、津島と通り、吉田町は今まで通っていた車も半分以下に減るのではないかと思います。交通量が減ることを逆手に取る発想があるのか、どのようなイベントを考えるのか、アイデアマンの市長にお聞きします。

【答 弁…市長】

地元の方々が何を売って生きたいのか、もっともって考えてもらう必要があります。まずは地元の盛り上がりをもう一度見守りながら、その中で市としてどういうアシストが出来るのか考えていきたいと思いま

す。吉田町においては高速道路が通らないわけですが、今回のイベントを黙っていはなにもおこなわないで終わってしまいます。吉田の住民の方はある程度危機感を持っておられると思います。本当の危機感を持ってアイデアをだせるのか、そこまでいかないとけないと思います。是非とも議員の皆さんもアイデアを絞って、また、アイデアマンの発掘にも協力をお願いします。

その他の質問事項

- ◆道の駅について
- ◆産地の活性化をどう図るか
- ◆結婚支援について
- ◆ふるさと納税制度について



公明党

松本 孔

放置竹林について

【質問】

最近三間町に至る県道沿

いや、高光、また保田方面でも竹林整備がなされております。市としても竹林整備に一步前進したことが目にも見えて喜ばしいと思っております。そこで、放置竹林をなんとか整備したいという市民の要望と現況、

また、将来展望、人員の増強の予定などについてお聞きください。

【答 弁…産業経済部長】

平成22年度においては愛媛県が市町緊急雇用創出事業によって光満、高光、保田、三間町の放置竹林12・





3haを整備完了してあります。宇和島市としましては、

平成23年度において、緊急雇用創出事業を活用し、約5千万円の事業費により、約25haを整備する予定であります。なお、緊急雇用事業は23年度までの期間限定事業ですので、それ以降につきましては、必要に感じ、森林整備関係補助事業のなかで、竹林整備に該当する事業がありましたら、積極的に愛媛県等関係機関に要望していきたいと考えております。

【質問】

昨年6月議会で提案いたしました、竹粉砕機を使って肥料や飼料にする方法についてですが、放置竹林整備を円滑に進めるためにも現実味のある方法と考えますもその後検討されたかお聞きします。

【答 弁…産業経済部長】

粉砕機につきましては、調査したところ525万円と高額でありましたので、まず、導入を検討する前に粉砕したものをどのように活用するか、宇和島市の需要

などの調査が必要であります。

平成23年度に実施予定している放置竹林整備事業は、竹を伐倒、整理し、伐倒した竹を棚積みする方法で、作業効率上、竹林地内での処理としており、竹粉を肥料・飼料にすることは考慮しておりません。宇和島市としては、内子町等先進地での竹材の有効利用の事例を研究し、検討してまいりたいと考えております。

【質問】

城山の東側に竹林が増えているように思います。他の山もあつという間に竹林は広がっていった訳ですが、どのようにお考えか。

【答 弁…教育部長】

城山の竹林は、宇和島城南側の登城口周辺に約1畝あります。昨年度に愛媛県の放置竹林整備雇用対策事業を活用し、成立本数の約30%を伐採、集積及び整理をいたしました。これにより竹林の拡大抑止及び水源かんよう機能の低下防止を図れたのではないかと存じます。



自転車の安全走行について

【質問】

2007年の法改正で自転車は原則車道を走行することになりました。自転車専用道路もほとんどなく歩道すらない道がほとんどの状況で自転車が加害者となる事故は全国で急増しています。わが市の自転車事故の現況をお示しください。

【答 弁…総務部長】

07年は83件、08年は88件、09年は63件、10年は65件と法改正が施行された08年以降、宇和島市におきましては自転車事故の件数は減少しております。

【質問】

自転車事故は、中学生、

高校生と年齢が上がるにつれて加害者となるケースが増える一方であります。普段から無灯火で走る、歩道を猛スピードで走り抜ける、など危ない走行によく出会ったためにも被害者にもならないために走行ルールを徹底し各年代に応じて事故実態を踏まえた教育が必要だと思っておりますが、お聞きください。

【答 弁…教育長】

自転車の安全走行については、各学校にて、警察や交通安全協会の協力をいただいで交通安全の指導をしております。今後も映像などを利用したインパクトのある効果的な啓発運動を各種団体と連携して行ってきたいと考えております。

【質問】

広い歩道には自転車専用レーンを設けて頂きたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

【答 弁…建設部長】

自転車専用レーンの設置につきましては、困難な状況ではありますが、広い歩

道の利用につきましては自転車及び歩行者の通行区分や、安全を確保するための区画線を表示することや、歩道通行レーンとならないかを、警察や国、県と連携しながら協議していきたいと考えております。

その他の質問事項

- ◆住宅用火災報知機について
- ◆支えあう地域社会について
- ◆浄化センター予定地の整備について
- ◆子育て中の母親支援について



社会民主党

岩城 泰基

### ため池管理について

【質問】

三間町には108のため池があるそうですが、市全体ではいくつため池があり、また実態調査はどのようにしていますか。

【答 弁：産業経済部長】

宇和島市には、185箇所あります。旧宇和島市21箇所、吉田町25箇所、三間町107箇所、津島町32箇所となっております。調査は、平成17年の11月から平成18年の8月にかけて調査を実施しており、所在地や管理者・堤体の危険度等をデータ化しております。

【質問】

三間町では、農家・非農家問わず集落で管理しているようですが、旧宇和島市、吉田、津島の場合はどのようになされていますか。

【答 弁：産業経済部長】

ただ今、緊急雇用創出事業を利用して市内全域の草刈り等を実施しております。23年度にもこの事業を継続していきたいと思えます。

【質問】

管理放棄されているため池の数はいくつありますか。

【答 弁：産業経済部長】

管理放棄となった報告が1ヶ所ありました。このため池は、地域住民の承諾を得て市単独事業により、ため池の貯水機能を無くす工事を行い、堤体の決壊防止対策をしました。

【質問】

知人からの要請で、若宮池の間き取り調査に出かけました。軽自動車を通れるように傾斜の一部が削られ、モグラの出た穴が点々とありました。

【答 弁：農林課長】

このため池は、下流域の住宅化が進み、受益者が1名となり、国等の補助にも該当しないという状況です。今後、危機管理的な状況を踏まえて充分検討していきたいと考えております。

### 防災体制の充実について

【質問】

18年6月にアンケート調査を行っていますが、第一次宇和島市総合計画にでた数字に基づいて、進捗状況をお尋ねします。調査の方法、あるいは抽出の仕方、調査件数、回答率について答弁を求めます。

【答 弁：危機管理課長】

この調査は、宇和島市総合計画の策定に際しまして、住民の声を計画に反映させるために、市内に居住する20歳～79歳の市民を対象としまして、無作為抽出により3千名を選び、郵送による配布及び返信用封筒を同封した回収方式で実施しております。有効回収率は、1千440名で有効回収率は48・00%です。

【質問】

防災訓練参加者延べ人数、消防団員数、避難路、避難場所を知っている市民の割合、食料、飲料の備蓄や家具の転倒防止など災害対策をしている市民の割合を18年基準にして24年度の数字目標として設定されていますが、どうなっていますか。

【答 弁：危機管理課長】

1 番目の自主防災組織は、平成18年度末現在215組織(組織率49・2%)が、平成22年12月末時点では387組織(組織率78・4%)となっております。

【質問】

2 番目の防災訓練参加者延人数については、平成18年度末現在4千人が平成22年度の2月末時点では647人となっております。平成24年度目標の1万人にはまだまだ届かない状況にあります。

3 番目の消防団員数につきましては、平成18年4月1日現在2千252人でありましたが、平成23年3月1日現在の団員数2千204人。平成24年に目標としている2千300人に96人程度不足している状況であります。

4 番目の避難路、避難場所を知っている市民の割合については、平成18年の調査以降、調査を実施していないため、現時点での割合をお答えできません。

5 番目の食糧・飲料の備蓄や家具の転倒防止など災害対策をしている市民につ

いても、平成18年の調査以降、調査を実施していないため、現時点での割合をお答えできません。

【質問】

やはり、18年度に24年度目標を設定しているのですから中間的な集計はすべきです。そしてそれに基づいてやり方の点検をきちんとやるべきだと感じました。

最後に耐震化工事に対する助成について、私は助成をやっているのかなと担当課を尋ねたら、やっているのは、耐震化診断だけですよといった回答でした。

是非、宇和島でも耐震改修に対する補助事業をやっていくべきだと思いますがいかがでしょうか。

【答 弁：市長】

今年から住宅の改造についても補助制度を設けました。是非こういうことも利用していただいて耐震化のところまで踏み切っていただきたいと思います。

### その他の質問事項

◆施政方針について

日本共産党

坂尾 眞

### 国民健康保険事業について

【質問】

宇和島市の世帯数の約半分17,431世帯が加入している国民健康保険は市民の命と健康を守る大きな役割を担っています。施政方針で述べられています。一方に、国保事業は危機的な状況に置かれています。そこでこの国保問題に対する市長の認識を質したいと考えます。

国保事業の問題の大本は、国庫負担金を49・8%から25%に減らしたためです。市長は市政方針で「国保加入者の減少と医療技術の高度化」を上げておられますが、市長の認識が違うのではないかと思うのですが。

【答 弁：市長】 私としては、国保加入者の減少、1人あたりの医療費の増加が大きな要因であるのは間違いないと認識し

ております。

【質問】

保険運営のために、市長は医療費適正化の事業に取り組むと言われていますが、具体的にどの様なことを言われているのですか。

【答 弁：市長】

適正な保険請求がなされているかのチェックをするなどです。また、個人的な意見ではありますが、保護を受けている方は医療費無料なのに、受けていない方は低所得にもかかわらず医療費を負担しなければならぬ、本質的におかしいことが多々あるのではないかと感じており、是非この際見直し、皆さんが公平に負担しあう保険制度に近づけるのが理想であります。

【質問】

保険料の収納率のアップにも力を入れると言われております。宇和島市の収納率は確かに県下では低い方だと承知していますが、滞納者に対して資格証明発行280世帯、短期証1,040世帯で被保険者世帯の7・6%に及んでいます。

市長は収納率のアップをどの様にされようとしているのか、お聞きします。

【答 弁：市長】

公平さの意味において、保険料の決まったものについてはご負担いただく、ただ、その中でも本当に払えない人もいますし、払っていないという中にも色々な意味合いの方がおられますから、きちんと見分けるためには、資格証明書の発行、短期証の発行をし、行政としても滞納がある方との接触を意識的に増やして、収納を上げていくことが我々にできることだと考えております。

【質問】

市長は都道府県単位での一元化させるべきであると考え市長会等を通じて積極的に要望すると、述べられています。根拠をお聞かせください。

【答 弁：市長】

日本の国自体は介護保険を指しており、私としては、広く浅くという趣旨から言いますと、地域的にもより大きなところで保

険制度を運用するほうが公平性をだしやすいと思っておりますし、事務費などの付帯する部分についても効率化を図りやすいのだからと思っております。日本には、国民健康保険、社会保険、公務員の共済制度もあります、違いのある保険もどいつ風にしていくのが、国の議論の中で我々も加わって見つけていかなければならないと考えております。

【質問】

国保組合や共済健保では加入者の負担を軽減するために一般財源が繰入れされたり、独自給付が行なわれたり、医療費削減ができないと、医療を受ければ保険料に跳ね返り、負担に耐えられないなら医療を制限するという、むぎ出しの保険原理を押し付けるものでした。さらに問題は、国庫負担を一層削減する方向です。

「地域主権」「地方分権」など言葉は飛び交っていますが、実態は国の国民への医療・福祉予算の削減を目的とするもので、自治体を

住民の暮らし、福祉の守り手ではなく、非情な力集めを機械的に行なう機関に変質させるのが、「国保の広域化」「医療保険の一元化」で、決して認めることはできません。市長に撤回を求めます。

【答 弁：市長】

私としては、保険制度は、できるだけ広く、世代からも、地域からもカバーし、負担もできるだけ安くする、公平性をそのほうがいいと思っております。しかし、実際に保険料は地域間において各事情により県内でもかなり違います。そういう実情の中でいかに統一できるかが問題です。我々も、研究をして将来どの様に対応しなければならぬのか考えなければなりません。

### その他質問事項

- ◆医療福祉問題について
- ◆経済対策について
- ◆行政姿勢について



自民党議員会

薬師寺三行

市民生活の安全安心について

【質問】

市道御舟手大信寺線は現況では、3・1mと5mの道路幅です。幅員5mでの拡幅整備の計画はどのように考えているでしょうか。

【答 弁：建設部長】

以前より市内各地の自治会から多数の道路改良のご要望がありますが、市の財政事情は大変厳しく、中々ご要望にお答えできません。大変ご迷惑をかけています。現段階では、市道御舟手大信寺線についても、幅員5mでの拡幅工事の早急な対応は、難しいと考えていますが、現道の幅員内での可能である拡幅工事や、用地の地元協力がいただければ、待避所等の設置について、検討したいと考えています。

【質問】

市道 御舟手大信寺線は、防災・消防活動で、万全な

機能を果たせるかと考えか。

【答 弁：危機管理課長】

現状の幅員では、はしご車等大型車両を除く緊急車両の通行は可能であるため、大規模災害時等特別な状況でない、通常の消火活動等は実施可能と考えています。

【質問】

吉田駅ホームから、宇和島よりの御舟手踏切が拡幅しづらいと判断されれば、少し駅舎側に寄った部分に踏切を移動させ、駅舎前の広場に直結出来る代替踏切を整備してはと考えますが、可能かどうか伺います。

【答 弁：建設部長】

踏切改良には、多額の工事費用がかかるため、市の財政を考慮すると、早急な対応は難しいと考えます。いずれにしても、踏切改良に係る多額の工事費用や、その財源確保をどうするか、また、調査やJR四国との協議にかなりの時間を要するなどの問題が生じるため、財政部署とも協議し、市全体の計画の中で今後検討課題にしたいと考えています。

【質問】

吉田駅から宇和島よりのトンネルまでに、大船手踏切と、海蔵寺前の踏切があります。先日、私の知人がこの踏切で事故死されました。市民の人命を守るためにも、この踏切の整備改善が必要と考えますが。

【答 弁：建設部長】

警報機等の安全対策が必要と考えますが、当踏切は、個人所有地内に設置されており、公費を充当しての改良工事は困難な状況です。しかし、事故防止の観点や、歩行者の安全対策は必要ですので、今後JR四国等の関係者と協議し、対策について検討したいと考えます。

【質問】

宇和島市における防災無線放送の現況、サイレンの連呼は万全の整備体制となっているのか伺います。

【答 弁：危機管理課長】

旧3町においては、防災行政無線が整備されており、市からの情報伝達手段は整備されていると考えています。旧宇和島市においては、防災無線が整備されており、市からの情報伝達手段は整備されていると考えています。

がないので、困難な状況にあります。旧市内に城山を含め5箇所サイレン設備があり、このサイレンを活用することは可能です。

【質問】

緊急放送の聞き取れない地域家庭に、受信機の無料貸出制度はできないか。

【答 弁：危機管理課長】

旧宇和島市内に同報系の情報伝達手段がないことは、喫緊の重要課題と認識しています。現在、運用が検討されているコミュニティFM等、防災行政無線以外の情報伝達手段も踏まえ、より効果的な情報伝達手段を検討している状況です。また、旧3町においては、戸別受信機の無償貸与は1戸につき1台となっており、離れ等においては、戸別受信機がなく、緊急放送が聞き取れない場合もありません。

【質問】

特に後期高齢者及び弱者の要望に答えていただきたいと思うのですが。

【答 弁：市長】

住民の公平なサービスとすることを考えた時に、旧の宇和島にはこういう設備が一切残念ながら無いと、逆に旧町においては、設備がある上にまた世帯別でも無料で配るとするのは公平性という意味では、すぐにやるということは言いづらいたと思います。

【質問】

緊急防災放送では、吉田藩3万石城下町当時より使用されていた町名、現行政区での連呼を徹底していただきたいと思いますが。

【答 弁：危機管理課長】

現在、防災行政無線で緊急放送する場合においては、できる限り分かりやすい情報伝達をするために、行政区、地名での放送を実施しているところです。しかし、発災初期時点で詳細が不明な場合においては、詳細な地名での放送をすることが困難な状況もあります。